

2026年6月9日
イオン株式会社

愛知・名古屋2026大会（第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会）におけるパートナーシップ契約の締結を実施

イオン株式会社（取締役 代表執行役社長 吉田昭夫）は、公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会（会長 大村秀章）と、2026年4月14日に第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）および第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）におけるパートナーシップ契約を締結し、6月8日に締結式を実施しました。



アジア競技大会は、1951年に第1回大会が開催された歴史あるアジア最大のスポーツの祭典です。現在は、アジア・オリンピック評議会（OCA）が主催し、アジア45の国と地域から約1万5,000人規模の選手が参加する大会です。アジアパラ競技大会^{※1}は、アジアパラリンピック委員会（APC）が主催する、約4,000人の選手が参加するアジア地域のパラスポーツの総合競技大会で、アジア競技大会と同一の開催地で行われます。

当社は大会期間中、選手や大会を支える方々に向け、飲料や軽食などのリフレッシュメントの提供および運営、ならびにビール・ワイン・ペットボトル飲料水（プライベートブランド商品に限る）の提供を行います。

また、大会の開催に向けては、オリジナル商品の企画やイオンの商業施設内で実施する「イオン de パラスポ」の開催などを通じて、大会への機運を醸成してまいります。

イオンは東海エリア発祥の企業であり、長きにわたり地域に支えられてきたことから、このたびの第20回アジア競技大会および第5回アジアパラ競技大会にTier 1（プレステージパートナー）として協賛します。地域に根ざす企業として、大会を支える“食と暮らし”のインフラを担い、誰もが安心して参加・観戦できる環境づくりの実現に貢献してまいります。